



2025 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ

ROUND 1

MOTEGI 2&4 RACE



■ 栃木県
■ モビリティリゾートもてぎ
■ 1周=4.801379km

■ クラス / JSB1000
■ マシン / BMW M1000RR
■ タイヤ / BRIDGESTONE

JSB1000 **11** 関口 太郎

予選

15位

(タイム: 1分50秒476)

4月19日(土)
天候: 晴れ
コース: ドライ

決勝

9位

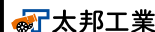
4月20日(日)
天候: 曇り
コース: ドライ



三明電気工事



Motorcycle CS2



2025年の全日本ロードレース選手権が4月19日（土）・20日（日）に栃木県・モビリティリゾートもてぎで開催された。昨年は、3月に開幕していたが、今年は4月半ば過ぎの開催となったこともあり、気温も上がり、観戦にも良い気候で行われた。



決勝日朝のウォームアップ走行で予選までの足回りを施し、1分50秒971で11番手。フィーリングは悪くはなかったが、もう一歩欲しいとレースに向けてアジャストしてグリッドに向かった。

全日本ロードは、JSB1000クラスのみの開催となったため、ST1000クラスのライダーも実戦テストとしてスポット参戦しているライダーも多く、そのライダーの前に序盤で出ておきたかった。そのためにも、スタートに集中した関口は、ポジションアップに成功。オープニングラップを12番手で終えると、2周目には10番手に上がってくる。3周目に決勝自己ベストとなる1分50秒293をマーク。その後も1分50秒台でコンスタントに周回。14周目に前を走っていたライダーがリタイアしたため9番手に浮上。前の集団も見えて来ていたが、レース終盤はポジションキープに切り替え9位でゴール。ドタバタしてしまったレースウイークだったが、レースはシングルフィニッシュと帳尻を合わせた。

レースで帳尻を合わせてシングルフィニッシュ!

前週にPRE-TEST “Round ZERO” と題し2日間の事前テストが行われた。今シーズンよりオーリンズのレーシングフロントフォークを投入し、足回りのバランスがどうなるか不安要素もあったが、思いのほか順調にセットアップが進み、良い流れのままレースウイークを迎えた。

今回は、オートレース宇部がBMW M1000RRのファクトリースペックを持ち込んだこともあり、SANMEI Team TARO PLUSONEとしては、昨年の最終戦鈴鹿で使ったキットエンジン “Type7.2” をレースウイークから投入。



しかし、走り始めると電子制御がうまくいかず、また2台の車両でサスセットを進めようとしたが、エンジンやミッションの違いから全く進めることができない状態だった。さらに金曜日の2本目にはコースアウト転倒もあり、悪い流れになっていた。

何とか “Type7.2” を使えるようにと、公式予選も使ってセッティングを進めたが、うまくいかなかったため、予選はセッション終盤にノーマルエンジンが搭載してある方の車両でアタックすることを決断するが、ドタバタしているときは悪いことが続いてしまう。その車両に電子制御のエラーが出てしまい、セーフモードの状態のままアタックを行い1分50秒476で15番手で予選を終えることになってしまっていた。

今回は、4輪のスーパーフォーミュラとの併催の2&4レース。4輪のタイヤラバーが乗り、路面コンディションが変化していたが、関口にとっては、それ以前の問題が大きかったため、今回はいつも通りノーマルエンジンでレースを戦うことを選択した。



まず三井電気工事様、SDG様を始め、多くの皆様の応援のおかげで2025年シーズンも戦えることを感謝申し上げます。レースの方ですがウイークに入りバタバタだし、まとめきれずに挑んだ決勝でしたが、何とかシングルフィニッシュを果たすことができホッとしました。やはり欲をかくとだめですね。そう簡単にはいきません。キットエンジンをうまく生かすことはできませんでした。今回の反省を生かし、次戦SUGOIは身の丈に合った物でしっかりと積み重ねていき、チーム一丸となって戦って参ります。今シーズンも応援よろしく願いたします。

関口 太郎

